

2019年1月16日

「ニムロッド」(「群像」2018年12月号掲載)

『宝島』(2018年6月刊)

第160回芥川賞・直木賞ダブル受賞のお知らせ

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本日発表された第160回芥川賞に「群像」(2018年12月号)掲載の「ニムロッド」(著者・上田岳弘)、直木賞に『宝島』(著者・真藤順丈)が選ばれましたので、お知らせいたします。

弊社作品のダブル受賞は2000年上期(松浦寿輝著『花腐し』、金城一紀著『GO』)以来19年ぶりとなります。

作品の概要、著者略歴は以下のとおりです。

芥川賞

【「ニムロッド」概要】

IT企業で新規事業を任せられ、仮想通貨(ビットコイン)をネット空間で「採掘」する僕・中本哲史(ナカモトサトシ)。中絶と離婚のトラウマを抱いたままの外資系証券会社勤務の恋人・田久保紀子。小説家への夢に挫折した同僚・ニムロッドこと荷室(にむろ)仁……。あらゆるものが情報化した社会を背景に、生きづらさを抱えた人々を描き、個のあり方を問う。新時代の仮想通貨小説!

【著者・上田岳弘(うえだ・たかひろ)氏略歴】

1979年兵庫県生まれ。早稲田大学法学部卒業。2013年「太陽」で第45回新潮新人賞を受賞しデビュー。2015年「私の恋人」で第28回三島由紀夫賞を受賞。2016年「GRANTA」誌のBest of Young Japanese Novelistsに選出。2018年『塔と重力』で第68回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。著書に『太陽・惑星』『私の恋人』『異郷の友人』『塔と重力』がある。

講談社

直木賞

【『宝島』概要】

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた三人の幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。生きるとは走ること、抗うこと、そして思い続けることだった。少年少女は警官になり、教師になり、テロリストになり——同じ夢に向かった。超弩級の才能が放つ、青春と革命の一大叙事詩!!

<http://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000310700>

【著者・真藤順丈（しんどう・じゅんじょう）氏略歴】

1977年東京都生まれ。2008年『地図男』で、第3回ダ・ヴィンチ文学賞大賞を受賞しデビュー。同年『庵堂三兄弟の聖職』で第15回日本ホラー小説大賞、『東京ヴァンパイア・ファイナンス』で第15回電撃小説大賞銀賞、『RANK』で第3回ポプラ社小説大賞特別賞をそれぞれ受賞。2018年『宝島』で第9回山田風太郎賞を受賞。著書にはほかに『バイブルDX』『蛙と銃』『墓頭』などがある。